



国際ロータリー第2530地区 2014-15年度

福島ロータリークラブ會報

第35号

例会日/2015年4月2日(木) 開会点鐘/12:30
会場/ホテル[辰巳屋]8F

和の心で
日々燭を掲げよう

Rotary



本日の
プログラム

・「雑誌月間にちなんで」スピーチ *「友」14月号の紹介

・「フィリピン マリキナRC創立50周年記念式典」報告

広報マルチメディア雑誌小委員会 佐藤 武彦 委員長

<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30

【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

お祭りと言えは秋祭りを思い浮かべる方が多いと思いますが、市内の神社でも春はお祭りの多い季節なのです。よく春祭りの意味を聞かれるのですが、理由は至極簡単で、秋に収穫の感謝をするわけですから、当然春には豊作になりますようにとのお願いがあつて当然です。昔、日本は農耕社会でしたから、春にはその年の五穀豊穡や、諸産業の発展を神さまに祈りました。そして、田畑を丹精込めて耕し、農作物を育て、秋になって豊かな実りがもたらされたときに、感謝申し上げます。こうした営みを繰り返してきました。

春祭りとお花見のお話

二〇一四―一五年度会長

丹治 正博

「お花見は春祭りのルーツ」ところで、今日の話題の「お花見」はこの春祭りといふに変わりがあります。お花見はまさに春祭りのルーツとも言えるものなのです。桜は古くから日本の山野に自生していた植物で、日本では花といえ桜と言われるように親しまれてきました。古来、桜を詠んだ和歌、現代では桜をテーマにした歌は日本人の共感を呼び、人々の心に感銘を与え続けてきました。それは、もとを辿れば桜が神さまの宿る木とされてきたからなのです。サクラの「サ」は古代では稲の霊を意味しているといわれます。例えば稲を植える月をサツキ一臈月(旧曆)と言います。また田に植える稲がサナエ(早苗)、植える女性がサオトメ(早乙女)、田植えに必要な雨をサミダレ(五月雨)というように、稲にまつわる言葉にはほとんどいいほど「サ」がついているのがわかるでしょう。一方、サクラの「クラ」はお神楽などでわかるように、神さまのすわる座、場所と言ふ意味です。ですから、サクラとは稲の霊、つまり稲の神さまの宿られる木であつたわけですね。

お花見の由来

お花見の由来は、神話の世界にまで遡ります。日本の神話が書かれている「古事記」に登場するニギノミコトとコノハナサクヤヒメとの物語です。天照大御神さまのお孫さんであるニギノミコトは、この日本を稲穂が豊かに実る国にするように、とのご命令を受けて、天照大御神さまが高天原で丹精込めて育てられた稲束を託されて、高千穂の峰に降りられました。有名な天孫降臨神話ですね。これ以降、日本人の主食はお米になったと言われていきます。地上に降り立ったニギノミコトは、山に咲く花、つまり桜を象徴するコノ

お花見は春祭りのルーツ

ハナサクヤヒメと出会い、結婚するわけですね。こうして稲の神さまと、木の神さまとが結び付いたのですが、こうした神話が生まれる背景には当時の人々の生活様式があつたことは間違いないでしょう。毎年稲作りの作業が始まるのは、桃の節供、つまり旧曆の三月三日、今でいうと四月中旬の頃でした。山に桜の花が咲くのはそれよりやや早い四月初めの頃です。暗く長い冬が終わり、いよいよ今年も稲作を始めようというとき、人々は農閑期には山に帰ると信じられていた「田の神さま」をお迎えするために山に行きました。そこで見たのが、山に自生して狂おしいばかりに白い花をいっぱいにつける桜の花でした。そこで、稲の魂、神さまが降りてこられて宿られた桜の木の前で、今年の収穫を祈つてお祭りを行いました。たくさんのごちそうを神さまにお供えて豊作を祈つたのです。そして、お祈りをした後は、神さまにお供えしたご馳走を皆で頂く「直会」(なおらい)が行われました。この「直会」には、普段祭りに参加することのない女性も参加が許されました。農作業の中心になる女性たちが、厳しく辛い稲作が始まる前に、精一杯楽しもうというピクニック的要素もあつたことも間違いのないだろうと思われれます。

「直会」の本来の意味

お花見は本来、お米の豊作を祈る春祭りを起源として、お供えやお祈りになった部分だけが「直会」として定着してしまつたようですが、本来の「直会」とは、ちゃんと神さまにお供えをしてお祈りしてから行うのが筋であつて、昨今、会社帰りにちよつと「直会」でもやりますか、というのは適切な使い方ではありません。

マリキナRC創立50周年 記念式典に参加して

広報・マルチメディア小委員会 佐藤 武彦 会員



タガイタイにあるタール火山を眼下に

去る3月18日に開催されたマリキナRC創立50周年式典に参加して参りましたのでご報告致します。

3月17日(火)午後6時発のJL便で成田を出発。マニラには、現地時間10時10分に到着。入国審査の後、マニラ市内のホテルに向かった。事前に予約していた紺野直前会長の送迎車にちゃっかり分乗し空港から移動。

紺野直前の宿泊するパンパシフィックホテルを目指す。わたくしの場合は、急遽の渡比であった為、パンパシフィックホテルに程近いパームプラザホテルに宿を取りました。午後12時に待ち合わせて、2人で遅い安着祝いをしたのは言うまでもありません。

翌18日は創立記念式典が夕方からとゆう事もあり、せっかくフィリピンに来たのだからと、早起きして車をチャーターし一人マニラ郊外のタガイタイに出かけました。タガイタイはマニラの南西60キロに位置し、標高も700m程あると言う事でマニラと比べてかなり涼しい所で、眼下にタール湖を望み世界一小さいと言われているタール火山が見られます。

午後マニラ市内に戻り紺野直前と合流。早めにマニラホテルへ向かいました。マニラホテルは1912年の開業以来、世界各国のV.I.Pをゲストとして迎えてきた格式高いホテルです。「世界のベストホテル」をはじめとする数々の賞を受賞しているだけあって、ロビーはじめホテル各所にゴージャスでクラシカルな雰囲気が漂っておりました。

開催は午後6時との事ですが、何となくメンバーが集まって来ていつの間にかドリンクが運ばれ、あちこちのテーブルで会話がなされ会食が始まったと言う感じ。我々日本人の主催する式典のイメージとは、いささか違った雰囲気で創立記念パーティがスタートしました。



3800地区ガバナーと

福島クラブの我々は、紹介の一番最初に案内され紺野直前会長は、出席者を前にお祝い言葉を述べられました。事前に通訳と内容を打ち合わせた事もあり、満場の拍手を浴びました。その後、当クラブから持参した\$2000を贈呈し調印式となりました。



会場内も豪華

その後、マリキナRC会員が歌の披露や奥様と一緒に社交ダンスを披露したりと、華やかなパーティーは続き、終了したのは午後10時にならんとしておりました。我々は、翌19日のマリキナ市内で行われるフェローシップナイトへの招待を受け、この会場を後にし宿泊先のホテルへと戻ったのであります。



紺野直前会長スピーチ



マリキナRC現会長に福島RCから\$2,000を贈呈



調印式

パーティー終了後ホテルに戻った我々は、ホテル近くの韓国焼き肉レストランで反省会を閉店まで行ったことは言うまでもありません。



翌19日は、前日のアルコールが残ったせいか目が覚めたのは、午後でありました。マリキナから午後4時に迎えに来ると言うので、それまでホテルの目の前にあるロビンソンデパートで土産物を物色。家族と社員用にドライマンゴーどっさり買い込みました。そうこうしている内に程なくお迎えの時間となり、迎えに来たのがなんとマリキナ市の現職私服警官の2人。相変わらずの超渋

滞の中、割り込み車線変更を繰り返しながら一路マリキナ市へと向かったのであります。走る事1時間半程して会場となったマリキナ市内「コーヒーレストラン テキサス」に到着。



会場のレストラン

会場には、マリキナ市の市長さんや副市長のファビ氏、マリキナRCのメンバーが出迎えてくれました。韓国のロータリアンや、マレーシアのコタキナバル市から、ルヤング(Luyang)ロータリークラブのフランシス チャン会長他数名、バンコク南ロータリークラブのジェフリー カーター氏他2名等が招待されており、前日のパーティーとは打って変わって終始和やかに楽しく交流を深める事ができました。

また、前日には受付やらパーティーのスタッフやらと、ろくに挨拶もできなかつたおなじみのマリキナRC

会場には、マリキナ市の市長さんや副市長のファビ氏、マリキナRCのメンバーが出迎えてくれました。韓国のロータリアンや、マレーシア

のメンバーともお話しできこれまでに無い有意義な交流の場でありました。

楽しい時間はあっという間に来るもので、お別れの時間となり、再び混雑する道を通じおまわりさんに送って頂きました。今回のマリキナRC訪問は、創立記念パーティーへの出席と言う形の2日間の滞在となりましたが過去2回の訪問(私個人)と違って、より深い交流の機械を頂けたと感じました。ありがとうございました。



ファビと



紺野直前会長、バスト会長、ノミニ

※佐藤武彦会員には「雑誌月間にちなんで」「友」4月号の紹介」をかねてスピーチいただきました。

ロータリーの豆知識 第95回

ロータリーの友

ロータリーには公式雑誌ロータリー・ワールド・マガジン・プレスがあり、約50万部が発行されています。ザ・ロータリアンの他に、国際ロータリーの理事会で承認した地域雑誌、『ロータリーの友』など世界で、31誌78万部が発行されています。この『ロータリーの友』の発行の経緯ですが、1953年7月から日本が東西2つの地区に分割されることになったため、地区が分かれてもお互いに情報を交換していこうとの気運が高まり、共通の機関誌の発行が決定されました。準備会を経て、名称を『ロータリーの友』として、1953年1月に第1号が発行され、本年2015年1月号は62周年となります。

『ロータリーの友』の歩み

昭和27年(1952年)当時、発行にあたって決められたことは、毎月発行すること、価格を50円とするが、広告を取って100円分の内容のある雑誌とすること、名前を『ロータリーの友』とすることなどが決定しました。また、新しい雑誌を縦書きにするか横書きにするかで意見が分かれ、全会員による一般投票の結果、二対一の割合で、横書きが採用されることになりました。戦後10年もたっていない時代背景を考えると、この結果は、当時のロータリアンが、いかに先進的な考えをもっていたかを知ることのできるエピソードです。

広告を取ることが決定したものの、当初は発行部数が3,300部にすぎなかったこと、また、戦後の混乱が少し落ち着いたというものの、まだまだ経済的には厳しかったこともあり、広告のスポンサーを見つけることは容易なことではありませんでしたが、創刊に携わったロータリアン自らが走り回り、苦労して広告を取ったという逸話が残っています。

最初、横書きでスタートした『ロータリーの友』ですが、その後、俳壇、歌壇など、横組みでは具合の悪い欄が始まり、これらを縦書きで入れることになりました。ページを開いていくと、横書きの中に、突然縦書きのページが出てきて読みにくいということで、1972(昭和47)年1月号から、左から開けると横書き、右から開くと縦書きの現在のような雑誌の形になりました。このときの表紙は、陣羽織で、横書きは前から見たところ、縦書きは後ろから見たところ、というように、両面表紙の特徴を生かした面白いものになっています。

国際ロータリー公式地域雑誌に

その後、1年間の試験期間を経て、国際ロータリー公式地域

雑誌になりました。公式地域雑誌の要件はいろいろと定められており、また、時代とともに多少変化をしています。要件の1つには、「毎年、年度の始まる7月号には、「国際ロータリー(RI)会長の写真を掲載する」との決まりがあります。

カラフルに、ビジュアルに

はじめ、表紙以外はモノクロのみでしたが、1986(昭和61)年から、「ロータリー・アット・ワーク」(横組み写真のページ)のトップの取材ページをカラーに、縦書き、横書きの巻頭各8ページを二色刷りにしました。写真のページをカラーにし、2色刷りのページを入れると、当然印刷費は高くなりますが、この費用を捻出するために、用紙の厚さや種類を変更して用紙代を節約するなどの工夫をしています。時代の変化に合わせ、カラーページも増えています。

2003年の創刊50周年に当たり、これまでの良い伝統は継続しながら、新しい50年のスタートにふさわしい新鮮な『ロータリーの友』を目指して誌面を一新しました。サイズをB5判からA4変型判に変更し、カラー写真のページを巻頭にもってくるなどして、親しみやすい『ロータリーの友』を目指して、進化を続けています。

しかしながら、『ロータリーの友』の財政状況は厳しく、会員減少が財政を直撃しています。1997-98年度、月平均17万部発行していましたが、2011-12年度は9万7千部と発行部数が大きく減少しています。これに対しては、徹底的な合理化で対応しており、コンピューター編集への切り替えなど出版費、人件費等の削減をする一方で、全てのページをカラー印刷化し、消費税込1部210円を維持すべく様々な対応をしています。

『RI指定記事』とは

『ロータリーの友』は、ロータリー地域雑誌に指定されています。そのために従わなければならない規則がいくつかありますが、その一つが『The Rotarian』から、指定された記事を転載するというもので、それが『RI指定記事』です。RI会長や財団管理委員長のメッセージ、毎年8月号に掲載する「ロータリーの基本知識」、11月号、2月号、5月号に掲載している「GLOBAL OUTLOOK」がその代表的な記事です。外国の記事はあまり興味がないと言われる方も多いようですが、全世界のロータリアンが情報を共有した方がよいと思われる記事が指定されていますので、ぜひご一読ください。

結びに

ロータリアンは、『The Rotarian』か、指定されたロータリー地域雑誌(日本の場合は、『ロータリーの友』)を購読することが義務付けられています。(文責/丹治正博)

私のひとこと

菅野 晴隆 会員



私は、スカパーやBS放送で欧米のプロゴルフツアーの試合を観るのが好きです。現在の状況は、長らく続いたタイガーウッズの時代が終わり、世界ランクナンバーワンのローリーマキロイを中心とする若手選手の群雄割拠の時代に入っています。

選手のパワーや技術は、レベルが高すぎて参考にはできない場合が多いのですが、メンタル面は参考になることが多々あります。ゴルフは、メンタル面がかなり影響するスポーツで、同じ人が止まっている球を打つにもかかわらず、毎回結果が異なり、プレッシャーがかかるとプロでもわずか数センチのパットさえ決められないことがあります。

とくに、四大メジャー大会であるマスターズ(四月)、全米オープン(六月)、全英オープン(七月)、全米プロ(八月)ともなると、プロゴルファー人生をかけた各選手の緊張感が手に取るようにわかり、観ている私までピリピリと緊張してしまいます。

そのような中で、本当に強い選手は、メンタル面を正常に保つためにどのような表情、態度、間の取り方をするか、どのようなショットを選択するか、ライバルにどうやってプレッシャーをかけていくか等の点は、観ている本心に面白いと思います。やはり、勝つべき人、勝つ準備ができていない人が勝ち、勝てない人は、途中までは良くても、大事な場面になると、勝つのが怖くて自ら逃げるかのようになり勝ちから遠ざかっていきます。人生の参考になるな、などと思いつつ、いつも興味深く観ております。

これからはメジャー大会の時は寝不足が続きそうです。

菅野 晴隆 会員

菅野 晴隆 会員

例会次第

- 開会点鐘 丹治正博 会長
- 国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 茂田士郎 会員
- 「四つのテスト」唱和 小林仁一 会員
- 退会挨拶 岩田尚志 会員
- 表彰・伝達 丹治正博 会長
- 会長挨拶 丹治正博 会長
- 4月誕生祝い
- 食事 坪井大雄 幹事
- 幹事報告
- 各委員会報告
- プログラム・ニコニコBOX小委員会
ニコニコBOX担当 今井理基夫 委員
- ◎本日のプログラム
- 閉会点鐘 丹治正博 会長



例会プログラムのご案内

- 4月16日(木) 12:30~「辰巳屋」
 - ・内堀雅雄福島県知事ご挨拶
 - ・名誉会員バッジ伝達
 - ・新会員スピーチ
クリーンテック株式会社 反後太郎 会員
 - *「友」紹介 *「血圧測定」
- 4月23日(木) 18:30~「石林」
 - 「観桜夜間例会」 *ゴルフコンペ(パーシモンCC)
- 4月30日(木)→26日(日)に変更 10:00~「パルセイいざか」
 - 「RI第2530地区 地区大会」

幹事報告

お知らせ

- 本日18:30より4月理事会を開催致します。役員・理事の皆様宜しくお願い致します。

表彰・伝達

- 米山功労者35回
メジャードナーの伝達
加藤 義朋 会員



4月誕生祝い

おめでとうござります

河田 信国	亨 一朗	古保 猛	北村 清士	昭和 6年 4月 1日
				昭和 29年 4月 2日
				昭和 36年 4月 3日
				昭和 22年 4月 14日



ニコニコBOX報告

(報告) 今井理基夫 委員

本日のニコニコBOX投入額 29件 ¥64,000 累計 ¥2,077,000

- 岩田尚志 会員
三年間お世話になりました。
- 河田 亨 会員
誕生祝い・激励の言葉、ありがとうございます。しかし、80歳を過ぎれば年をとるのほう「沢山」と思っています。
- 加藤 義朋 会員
会津若松市内五クラブ合同例会、会津若松中央RCのゲストスピーチと二回連続して、当クラブを欠席しました。
- 森川 英治 会員
本日誕生月の皆様おめでとうございませう。当行でも昨日四十二名の新人が入社しました。しばらくすると、皆様のところにも顔を出すかもしれません、その節は宜しくお願い致します。
- 江刺家 宏樹 会員
新年度になり新入社員も入り、当時のことが思い出されます。初心忘るべからずという言葉が好きで改めて日々のことを考え直してみました。佐藤会員のスピーチ楽しみにしております。
- 今井 康 会員
四月十一日(土)の職場訪問例会よろしくお願ひいたします。春の競馬開催は四月十一日~四月二十六日の三週六日間です。皆様のご来場をお待ちしております。
- 佐藤 武彦 会員
本日スピーチをさせて頂きます。マリキナRC創立五十周年に出席してまいりましたので報告致します。
- 他に/渡邊又夫/白岩康夫/浦部博/菅野晋/田苗博/渡部世一/小林仁一/丹治正博/坪井大雄/門脇涉/高橋聡/志村光昭/有田吉弘/安藤健次郎/茂田士郎/牧野吉晃/相良元章/児玉健夫/古俣猛/藤井高志/田沼紀美子/増子勉

パンダハウス募金ご報告 (森川英治社会奉仕委員長)

4月2日 8,368円

累計 225,888円